委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

産業建設委員会

草津市シティセールス戦略基本プラン

昨年11月に、滋賀県草津市において行政視察を行いました。

草津市は、人口が約13万2600人で、琵琶湖の南東部に位置し、自然に恵まれた町です。

草津市では「草津市シティセールス戦略基本プラン」を基に、草津でしか体験・体感できない魅力の創出をめざしています。また、農産品をはじめ、あらゆる地域資源をブランド化する「シビック・プライド草津」を組織し、官民一体の取り組みが進行しています。

今後、本市が取り組む魅力あるまちづくりに大変参考となる事例で、有意義な意見交換ができました。

総務財政委員会

公共施設再配置の取り組みについて

昨年10月に、神奈川県秦野市において「公共施設再配置の取り組み」について視察を実施しました。

秦野市では、昭和50年代に現在の建物の約5割が建てられており、平成30年には約4分の3の建物が築30年以上となり、近い将来、これらの公共施設の更新が一斉に必要となってくる。また、これに合わせて高齢化と人口減少が進んで財政状況が悪化し、現状のままでは必要性の高い公共施設まで良好な状態が保てなくなる恐れがあることから、先進的に「公共施設の再配置」に取り組んでおります。

これは、全国どの自治体でも起こる問題であり、大変貴重な視察となりました。

民生文教委員会

元気っこ応援事業

昨年10月に、長野県塩尻市へ行政視察を行いました。

同市は、「子育てしたくなるまち　日本一」を目指し、子育て、教育分野に重点を置いた様々な取り組みを行っています。

視察をした「元気っこ応援事業」は、0歳から18歳までの子どもに対し、関係機関が連携し、適切な応援や支援を進めていく事業です。

この事業では、市役所内において連携しやすい組織の見直しをはじめ、相談窓口を一本化しわかりやすく工夫され、家庭・地域・学校・専門機関等が情報を共有しながらチームとして支援していくシステムが構築されていました。